

令和6年度 横浜市幼保小連携推進地区事業

栄区 西本郷地区 活動報告

大船ルーテル保育園

いいじまひがしこども園

横浜市立 西本郷小学校

【推進テーマ】

「子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携」

～アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの推進～

- ・昨年度より三年間の幼保小連携推進地区の指定を受け、連携事業をスタートし、2年目となる。
- ・昨年度の成果と課題を分析し、子どもの育ちと学びをつなぐ交流と連携について考える。
- ・26の園から本校に入学する子どもたちや保護者の思いや願いに沿った幼保小の交流や連携を目指す。
- ・学校と園が子どもの実態に合わせて計画・交流を実施し、その上で園側、学校側双方のカリキュラムを見直すようにする。

▶ 令和6年度 架け橋プログラムのふりかえり

・架け橋プログラム2年目を実施するにあたり、年度初めに全教職員の研修を行った。学校全体で架け橋プログラムおよびスタートカリキュラムへの理解を図り、昨年度の成果と課題についても簡潔に伝えた。

・次のキーワードを大切に学校生活を創っていった。

「小学校は〇〇だよ。」→「園ではどうしていたの？」

「〇〇してもらおう一年生」→「考える一年生」「ヘルプが出せる一年生」

「教える」→「見つける」

「〇〇ができない。」→「△△はできる。」

「話してね。」→「どう思っているの？」

「〇〇しよう。」→「次はどうするの？」

「どんなちからがレベルアップできた？」

そのことにより、学びに向かう力や豊かな学校生活を創る力が身についてきている。

【今年度の活動の経過と今後の予定】

事業名	日時	内容
第1回推進委員会	4月24日	・年間事業計画
小学校授業参観	5月24日	・生活科授業研究会を参観 思考力の芽生えが見られる姿の見取り
第2回推進委員会	6月19日	・児童の姿（思考力の芽生え）の見取りと共有 ・架け橋プログラムの共有
小学校運動会練習	10月17日	・1年生運動会練習の見学（ルーテル保育園）
秋遊び	11月20日	・秋の実や葉を使った遊び（生活科）に園児を招待 ・交流活動
小学校授業参観	12月23日	小学校インフルエンザによる学級閉鎖のため中止
ようこそその会	1月18日	・入学予定児童を招待 1年生児童による学校紹介・交流活動
幼保小情報共有会	1月15、22日	次年度西本郷小学校に入学する予定の児童について 情報共有を行う。
第3回推進委員会	2月	・年間振り返り ・次年度の計画

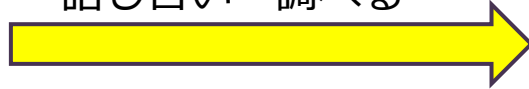
自ら考え、行動する力（生きる力）を育む・・・

いいじまひがしこども園では、子どもたちの「こうしてみたい、ああしてみたい」と思ったことや「なんでだろう？」と不思議に思ったことなど、一人ひとりの考えや意見を聞きながら、実際にそれを形にしていくことを大切にしたい保育を進めています。

事例① 渋いってなあに???



話し合い・調べる

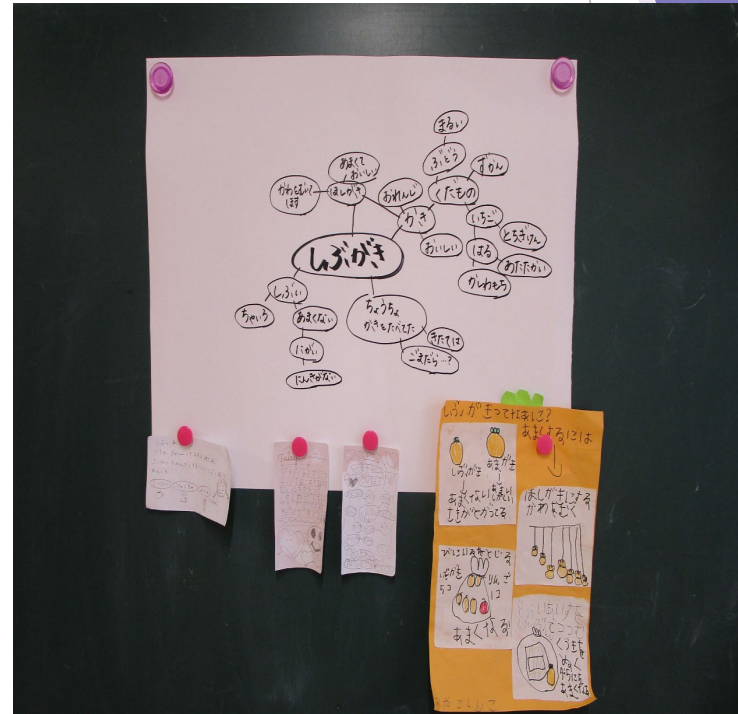


「園の畑にある柿は渋柿だからおいしくない。」そんな噂を聞いた年長組の子どもたち。



体験・気づき

思い切ってそのまま少し食べてみることに・・・。「ベロがギューっとする！」
「これが渋いか！」「色によって甘さも違うね！」



「渋いってどんな味？」
「甘いのとどう違うの？」
みんなで意見を出しあったり、調べたりしてみました！！

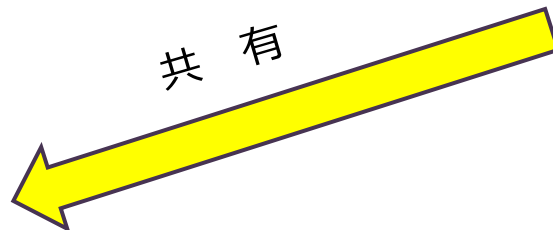


そこで、渋くなくなる方法を色々家で調べて来てくれた子どもたち！
そのうちの「冷凍する方法」を試してみることに・・・

実験



共有



全園児に報告！！
それを聞いた他のクラスの子どもたちも冷凍した柿をおいしく食べることができました！

その結果は・・・

「渋くない！！」

「甘い！！」

実験 大成功！！

事例② イブニングキャンプに向けて（お買い物）



話し合い・準備

自分たちがキャンプでやりたいことや食べたいものなどを各クラスで意見を出し合っ、ホールで発表しました！！



買い物に必要な役割
「お財布を持つ人」
「品物をレジに出す人」
「荷物を持つ人」
などを話し合っ決めて、メモに書き込み・・・



買い物に必要な財布やバッグを準備して・・・

いざ野菜直売所へ！



近くに野菜の直売所があることを教えてくれたお友だちがいて、そこに買いに行きました！！



カレーが、辛さによって箱の数字が違っことに気づいた子どもたち！（笑）
「みんなが食べられる甘いのがいいよ！」
「そうだよね！」などと、真剣に相談し合っていました！！

次にドラッグストアへ！

色づくり



色の基本は赤・青・黄の三原色
混ぜ合わせたらどんな色が出来
るかな？と色々試しています。



色が混ざる様子を
皆が観察中



色作りで、
自分たちが作った色は何色かな？
と調べています。



「同じ作品」というのはありません。
それぞれの作品を見比べています。
次は何色にしようか考えているのかもしれない

なわとび

毎日楽しく跳んでいます。
年長児の中には1060回跳んだ子も！！
小学校に行ってから
みんなで大縄とびするのを
楽しみにしています。



ぞうきんがけ

給食後の片づけ、掃除もみんなで行います。
子どもたちが考えた“ぞうきんがけ列車”
毎日元気に発車しています。

育む姿...

- ▶ 自分が考え行動する。
- ▶ 自分で考えたこと、行動したことに責任がもてる。
- ▶ 創造性や探求心を育む
- ▶ 満足いくまで行うことで達成感が得られる。
- ▶ 協調性・社会性が身に付く

**小さい時から発見・選択・行動・疑問...
それらを繰り返すことで得られた経験は
子ども達の土台となり、今後の成長を支えてくれるものと思います。
幼保小の連携を図りながら、子どもたちの成長を支え合い、
導いて行けたらと思います。**

職員①

「スタートカリキュラム研修」

新年度が始まってすぐ、全教職員で、スタートカリキュラムについて研修を行いました。かけはしプログラムのワークシートを使い、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）が小学校とどうつながっているかを考えました。学校全体でスタートカリキュラムに取り組む基盤を作りました。

スタートカリキュラム研修
～どんな子どもの育ちを願うか～

それまでの育ちと学びをつなぎ、将来にわたって主体的に学ぼうとする子どもを育てる
そのスタートがスタート

本郷台小学校
校長 原 南美子

もってほしい視点

- ◆How to と Why
どんな子どもを育てたいか、という願いのもとに方法はある、という考え方
- ◆どのような育ちと学びを保障していくか
★6年間を貫く主体性「わくわく・生き生き・学校が楽しい」
★幼児期の育ちと学びを繋ぐ「小学校は0からのスタートではない」
★「肯定的子ども観」を共有できる学校に

学校として持続可能に


◆どのような育ちと学びを保障していくか

◇子どもを識る・知る


- ・乳幼児期の子どもを識る。「遊びは学び」[0歳から]
- ・わくわく感・夢中な姿・好き がもつ力
⇒主体的な学びをつくる原動力
- ⇒協働性や社会に関わる力、自分づくりにつながるもの
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解
(年長児に見られる発達姿)
- ・育ちや学びの姿を推察できる力を
(実際の子ども姿を見て)

定量的子ども観をとらえる

どんな育ちが見えますか 4歳



どんな育ちが見えますか 2歳



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 (方向目標)
この姿を手掛かりに小学校教育を考える

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

生活や遊びの中で

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚


言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

考えたこと、感じたことを書いてみよう①

いきいき・わくわく・やってみよう!

日々の遊びが徐々に遊びを深めていく
子ども達の思いを大切にしたい場が子ども達によって作られていく



職員② 「入学式」

入学式では、西本郷小学校のキャラクター「せいおうまる」が登場し、第1回校長先生クイズが出題されました。

昨年同様全職員で、次の登校日が楽しみになる仕掛けができた入学式になりました。

次の日は、大雨でしたが、元気に登校し「三つのはてな」を見つげるために、学校たんけんが始まりました。



スタートカリキュラム

入学式から2か月ほどは、スタートカリキュラムとして、園との架け橋を考えたプログラムで学校生活が行われます。

西本郷小学校 ③



8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
	あさのしたく なかよくなるう	あさのしたく なかよくなるう	あさのしたく なかよくなるう	あさのしたく なかよくなるう
にゅうがくしき	<なかよしタイム> ・あいさつ ・げんきかな ・うたおう、おどろう ・ほんとなかよし	<なかよしタイム> ・あいさつ ・げんきかな ・うたおう、おどろう ・ほんとなかよし	<なかよしタイム> ・あいさつ ・げんきかな ・うたおう、おどろう ・ほんとなかよし	<なかよしタイム> ・あいさつ ・げんきかな ・うたおう、おどろう ・ほんとなかよし
にゅうがくしき	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・じぶんのにもつはどうする？	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・じしんがおきたら？ ・ヘルメットをかぶってみよう	<くんくんタイム> ひなんくんれん ・あんぜんにひなんができるかな	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・いろいろなへやへたんけんにいこう
	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう みつつのはてなをみつけよう。	<なかよしタイム> じこしょうかいをしよう ・なまえをかいて、じこしょう かいをしよう	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・きゅうしよくはどこでつっ ているのかな？	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・いろいろなへやへたんけんにい こう
	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・どうやって、あんぜんにかえ る方がいいかな？	<なかよしタイム> じこしょうかいをしよう ・なまえをかいて、じこしょう かいをしよう	<わくわくタイム> がっこうの「はてな？」について かんがえよう ・あしたからのきゅうしよくた のしみだな	<わくわくタイム> きょうからきゅうしよく。きゅ うしよくの「はてな？」をみつ けて、かんがえよう。
	もちもの どうくばこ こくごきょうかしよ	もちもの たいいくぎ こくごきょうかしよ	もちもの きゅうしよくぶくる (れんしゅうのため) (出席番号前半で自分の給食白 衣を使いたい人は、白衣)	もちもの きゅうしよくぶくる たんけんぼく こくごきょうかしよ この日からきゅうしよくがはじ まります。

職員③「小学校重点研究 授業参観」

西本郷小学校では、重点研究で「生活科」に取り組んでいます。園での経験が生かせる場として、「園ではどうしていたの？」と聞きながら、学習を進めています。昨年度、今年度は園長先生や保育士の方が来校し、授業を参観していただきました。入学して一か月半の子どもたちが、がっこうのはてなをたくさん見つけ、多くの人と関わる姿に驚かれていました。園での遊びが、小学校生活での学習や生活に繋がることを共有しました。卒園児の様子や掲示物等から成長した姿を感じていただきました。



交流会①

「ねんちょうさんとなかよくなろうのかい」



大船ルーテル保育園、いいじまひがしこどもえんの年長児を西本郷小学校の体育館に招待し、一緒に楽しい時間を過ごしました。1年生が会を進める姿に園の先生方は驚いていました。



みんなでジェスチャーゲームをしたり、にしほんじゃんけんを行ったり、クイズを出したりしました。それぞれのリーダーがゲームを進行しました。



交流会②

「シンいちねんせいとなかよくなるろう①」

1月18日の学校公開日に合わせ、新1年生及び保護者の方を学校に招待しました。

新入生が安心して入学できるよう1年生の教室やなかよし広場を使って、一緒に遊びました。1年生は2年生になった自分を思い浮かべながら、新1年生に優しく接する姿が見られました。

また、保護者の方が、ロッカーの大きさや机の高さを確かめ、入学準備の参考にする姿も見られました。



〈全体を振り返って〉

【成果】

- ・ 連携事業2年目で見通しをもって、会や交流を進めることができた。
- ・ 園の様子を知ることができ、同じ遊びや経験をしていることが分かった。それを小学校に繋ぐことができた。
- ・ 6年生や5年生が総合的な活動で、園と関わる姿が見られた。高学年の主体的な活動を通して次年度の幼保小交流に生かしていくことができると考えた。
- ・ 年長児と関わることにより、一年前の自分と今を比べたり、相手の立場に立って考えるということができるようになってきた。
- ・ 入学準備委員会を発足し、幼保小連携について組織で動くことができた。低学年の担任だけでなく、校内全体に連携事業について発信できたことは、大きな成果である。
- ・ IT機器を活用し、「すぐーる」やメールで連絡調整をすることができた。
- ・ 学校が楽しい、学ぶことが楽しい、友達と一緒に楽しい、楽しい学校生活は自分たちで創っていくことができる、と思える子どもが増えてきたことが最大の成果と考える。

【今後に向けて】

今年度は幼保小連会事業を校内で周知し、内容を伝えることができた。来年度は持続可能な事業として引き継ぐために、情報の共有やデータ化を行い、3年間行ってきた事業をまとめていきたい。